

第6学年 図画工作科学学習指導案

に組 男子 18名 女子 19名 計 37名
指 導 者 徳 留 健 成

1 題 材 切って感じて日本の四季

2 題材について

(1) 題材の位置とねらい

本題材は、紙の折り方や切り方を工夫してできた切り紙を、表したい季節の感じが出るように、配色や構成を考えながら組み合わせて絵に表す題材である。

この期の子どもたちは、これまでの造形活動で培ってきた経験や技能を生かすことができるとともに、他教科等での学びや経験も進んで活用することができるようになってきている。また、他者を意識するあまり、作品を人に見せることに慎重になる一方、自分らしさを表すことができる学習では、友達と活発に交流したり見せ合ったりする様子が見られる。さらに、社会的な視野の広がりから、我が国や諸外国の美術作品などに対して、親しみをもってとらえることができるようになってきている。

そこで、切り紙をつくり、それらを組み合わせて表現していくことは、**教科内外と関連を図ったり、言語体験や体験活動を充実させたりしながら、自分の表したい季節のイメージと見るポイントを強く関係付けて、自分なりに作りだしていく喜びを味わうことができる。**また、切り紙で表したい季節の感じを表現していくことで、様々な折り方や切り方を試みて、切り紙をつくったり、それらの配色や構成を考えて組み合わせたりして、作りだす力を伸ばしていくことができる。そして、見るポイントを基に、切り紙をじっくりと見たり、友達と感じたことや思いを交流したりすることで、互いの発想や作品のよさを味わい、感じ取る力を伸ばしていくことができる。さらに、日本の伝統・文化である「紋切り遊び」を体験することで、折って切ると対称の形ができることを生かし、紙を丁寧に折ったり、はさみなどの用具を適切に使ったりしながら、知識・理解、技能を高めていくことができる。

このように、色や形などの見るポイントを基に、切り紙をつくったり、組み合わせたりして季節を表現していく題材は、6年生の題材「ようこそ光と影の世界へ」で、昔から我が国の祭りなどで使われてきた灯籠を鑑賞し、実際につくっていくことで、教科内外で学んだことや経験を総合的に生かしながら、日本の伝統文化に親しんだりすることができる題材へと発展していく。

(2) 指導の基本的な立場

本題材で扱う切り紙は、紙を折って切り抜いていくことで、同じ形が一度にいくつもできたり、それが縦や横に並んだり、円模様に重なったりするものである。その際、**算数科と関連を図ることで、対称の形が意識され、一定のリズムで表現される美しさをより一層味わったり、表したい季節の感じを多様に表現したりすることができる**と考える。さらに切り紙は、昔から「紋切り遊び」として親しまれてきた我が国の伝統・文化の一つであり、生活経験と関連させて子どもの興味をもたせることができる。これらのことから、子どもたちは、友達と学び合い、学ぶ価値を実感しながら、意欲的に学習に取り組むことができる と考える。

そこで、表したい季節の感じを切り紙に表するためには、まず自分なりのイメージがもてるように、**いろいろな種類の紙を使って、様々な折り方や切り方を試みながら発想させたり、できた切り紙を何度も動かしながら組み合わせで構想させたりする体験活動**を設定する必要がある。次に、切り紙をつくったり、できた切り紙を組み合わせたりしていく際に、**見るポイントに沿って鑑賞したり、友達と感じたことを伝え会ったりしていく言語活動**を通して、自分の表したい季節の感じを具体的にイメージできるようにしていく必要がある。さらに、美しい切り絵に表すために、折り方を理解して丁寧に折ったり、何度も折った紙を、はさみを適切に使って切り抜いたりできるようにする必要がある。

このような学習を通して、子どもたちは、自分の表したい季節の感じを自分なりにイメージし、創造的に表現・鑑賞していく能力や態度を培いながら、自分の表したい切り絵を表現していくことで、作りだす喜びを味わい、表現へのこだわりをはぐくむことができると考える。

(3) 子どもの実態

本学級の子どもたちは、紙工作について(※1)は、これまでの図工の時間において経験してきており、ほとんどの子どもたちは紙工作が好きである(※1)。しかし、「好きではない」と答えた子どもも3名おり、「うまくできないから」「失敗するから」という理由であった。失敗を恐れずに**何度でも折り方や切り方を試すことができるような場を設定**する必要がある。

季節の感じを色や形に表すことについて(※2)は、多くの子どもたちが自分なりの色や形をイメージすることができた。特に色については、全ての子どもたちが、好きな季節についてイメージすることができた。一方で形については、イメージできない子どもも見られたので、豊かにイメージさせていく手立てが必要であると考える。

見るポイントについて(※3)は、これまでの学習経験を生かし、ほとんどの子どもたちが自分なりの見るポイントを見付けることができた。一方で、見るポイントの一つしか見付けられなかった子どもが7名、一つも見付けられなかった子どもが3名いたので、見るポイントを基に表現したり鑑賞したりすることのよさを味わえるような指導が必要であると考え。

紋切り遊びについて(※4)は、これまでの生活経験の中でほとんどの子どもたちが遊んだことがある。また、「遊んだことはないが、見たことはある」と答えた子どもも1名おり、多くの子どもたちが紋切遊びの面白さや美しさを味わってきていると考える。経験がなく、よく知らないという子どもも9名いるので、**昔から伝わる伝統・文化についての理解を深め、親しめるような場を設定する必要がある**と考える。

(4) 指導上の留意点

ア 意欲的に表現できるように、導入段階で参考作品を鑑賞したり、**試しづくりをしたりして、紋切り遊びの面白さや美しさを十分に味わえるように**していきたい。また、試しづくりをする際は、時間と材料を十分に確保した上でのぞめるようにしていきたい。

イ 季節の感じを豊かにイメージできるように、形や色によってイメージが変わったり、同じ色や形でも人によって感じ方が違ったりすることを全員で味わえるような場を設定する。そのために、導入段階で、複数の参考作品を鑑賞させたり、**鑑賞して感じたことを互いに交流し合ったりできる場を設定**していきたい。また、それぞれが多様にイメージしていく背景には、**これまでの学びや生活経験が結び付いていることを意識させた**上で、多様にイメージしていくことを認めていきたい。

ウ 友達の表現のよさに気付き、自分の表現に生かせるようにするために、自分なりに見るポイントをとらえ、それをイメージと結び付けていけるようにする。そのために、自分の季節の感じを発表させる際に、**自分の表したい季節の感じは、どんな色や形から自分なりのイメージにつながっているのか、具体的に尋ねたり板書に示したり**していきたい。

エ 自分のイメージを確かに表現できるように、参考作品を鑑賞して気付いたことを発表させたり、**昔から伝わる紋切り遊びについて全体で話し合ったり、実際に試しづくりをしたりして**、主体的に活動しながら、切り紙のつくり方やよさに気付いたり、伝統・文化への理解を深めたりできるようにしていきたい。また、試しづくりをする際は、事前にはしとはしをそろえて丁寧に折ることや、はさみの適切な使い方について指導して、思いに合わせて表現できるようにしていきたい。

実態調査 6年に組37名(4月中旬実施)

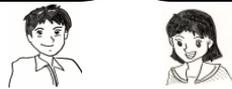
- 1 紙工作について ※1
好き(34名) 好きではない(3名)
(好きではない理由)
 - ・ うまくできないから(2名)
 - ・ よく失敗するから(1名)
- 2 季節の感じを色や形に表すことについて ※2
(好きな季節を色や形でイメージできるか尋ねた。)
色をイメージすることができなかった(0名)
形をイメージすることができなかった(13名)
- 3 見るポイントについて ※3
(既習内容の「おってちょっくん」の参考作品を鑑賞させて、自分なりの見るポイントがどれだけ見付けられるか尋ねた。)
見るポイントを複数見付けた(27名)
見るポイントの一つ見付けた(7名)
見るポイントの一つも見付けられなかった(3名)
- 4 紋切り遊びについて ※4
(実際に作品を見せながら尋ねた。)
 - ・ 遊んだことがある(34名)
 - ・ 遊んだことはないが見たことはある(1名)
 - ・ 遊んだことがなく、よく知らない(2名)

3 目 標

- (1) 表したい季節の感じが伝わるように、折り方や切り方を工夫して切り紙をつくったり、配色や構成を考えて組み合わせたりしながら、進んで表現することができる。
- (2) ○ 試しづくりや表現過程において、表したい季節の感じになるように折り方や切り方を何度も試みたり、配色や構成を動かしたりしながら考えていくことができる。
 - 見るポイントを基に作品を鑑賞する中で、友達の切り紙の折り方や切り方、また切り紙を組み合わせたとときの配色や構成のよさに気付くことができる。
- (3) 切り紙のつくり方を理解し、自分の表したいことに照らし合わせながら、はさみを適切に使って表現することができる。

4 指導計画(全4時間)

※ □ は日常生活や他教科等との関連を示す。

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
動機付け 発想	1 切り紙を鑑賞したことを基に話し合う。  昔やったことがあるよ。古い時代からあるんだね。今でも身の回りにはあるよ。早くぼくもつくってみたいな。	↑ 1 (本時)	○ 学習への意欲を高めるために、参考作品を鑑賞させて、感じたことを話し合う。その際、 切り紙の歴史に触れ、今日の生活に根付いてきている伝統文化の一つであることに気付かせて、切り紙に興味をもてるようにする。 生活経験「切り紙の歴史」【伝統文化】
	2 題材のめあてを話し合う。 形や色を考えて、季節の感じを切り紙に表そう。		○ 切り紙のよさに気付けるように、じっくりと鑑賞させて、形が一定のリズムを生み出してつくる美的な特徴を味わわせる。 ここでの対称の形への気付きを算数科の学習につなげていく。 算数科「6年 対称」【知識・理解、技能】
表現	3 切り紙について理解を深める。  左右が同じ形になっていて、きれいな模様だなあ。丁寧に折って、ぼくもきれいな模様になりたいな。	↓	○ 形や色などから、自分なりのイメージをもてるように、 試しに折り紙を折ったり切ったりさせる場を設定する。 ㊦ 停滞している子どもには、マーク作りを想起させ、発想の手立てとする。 クローキータム「ぼく・わたしのマイマーク」【発想・構想の能力】
	4 切り紙に表す。 (1) 試しづくりをする。  試しづくりをしたら、いろいろな形をみつけたぞ。この形と色の切り紙は、何だか春の温かい感じがするな。		○ 様々な並べ方や重ね方のよさに気付かせるために、 試しに置いた切り紙を見るポイントを基に鑑賞して、感じられたことを伝え合う活動を設定する。
	(2) グループのテーマを決める。  試しづくりをした切り紙を見ていたら、秋の紅葉のきれいな感じがするな。 本当だ！もっと切り紙を組み合わせ、もっと秋らしくしていこう。		○ 多様に形をイメージしたり、イメージに合った形を表現したりできるように、 算数科の「対称」の学習と関連を図り、対称への理解を深めたり、作図を十分にさせたりしていく。 算数科「6年 対称」【知識・理解、技能】
鑑賞 評価	(3) グループで表現する。  算数の時間にかいた対称の形が、自分のイメージする冬の季節に合いそうだな。友達にも聞いてみよう。	↑	○ それぞれのグループの表現のよさを味わえるように、 これまでに気付いてきた見るポイントを基に鑑賞し、それぞれの季節の感じが出ているところを認め合うようにする。
	5 グループで表現した切り紙を鑑賞する。  これまで学んできたことも生かして、自分のイメージに合った切り紙を、友達と協力して表現することができたな。		↓

5 本 時 (1 / 4)

(1) 目 標

- ア 切り紙に興味をもち、表したい季節の感じが伝わるように、進んで試しづくりに取り組むことができる。
- イ 試しづくりを通して、表したい季節の感じがでるように、折り方や切り方を考えながら表現することができる。
- ウ 参考作品や友達の作品を鑑賞しながら、それぞれの表現のよさに気付き、自分の作品に生かすことができる。
- エ 折って切ると、対称の形ができることを理解し、自分の思いに合わせて、丁寧に紙を折ったり、はさみを適切に使ったりすることができる。

(2) 本時の展開に当たって

導入段階で、複数の参考作品を鑑賞させることを通して、形や色によってイメージが変わったり、同じ色や形でも人によって感じ方が違ったりする経験を全員で味わい、自分なりのイメージを大切にできるようにしていきたい。また、**試しづくりの活動を設定**することを通して、作品の形や色などを基に自分なりのイメージをもって、季節の感じを表すことができるようにしていきたい。さらに、**これまでの学びや生活経験が結び付いていることを意識させて**、イメージを広げたり、具体的にしたりできるようにしていきたい。

(3) 実 際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
動機付け 発想	1 参考作品を鑑賞し、感じたことを話し合う。  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 色や形が違ると、イメージが変わるな。同じ切り紙でも、友達と自分の感じ方が違って、おもしろいな。 </div>	(分) ↑	○ 自分なりのイメージを大切にできるように、形や色によってイメージが変わったり、 同じ色や形でも人によって感じ方が違ったりすることに気付かせる。 ○ 切り紙に興味をもてるように、切り紙について電子黒板で紹介して 日本の伝統文化についての理解を深めていく。 ○ 今後の見通しをもたせるために、切り紙を鑑賞したことを基に、題材のめあてへと焦点化していく。 ○ 表現への意欲を高めるために、参考作品の切り紙をじっくりと鑑賞させて、対称の形が縦や横、円模様など連続して表れていることに気付かせ、その美しさを味わえるようにする。
	2 切り紙について理解する。 ・切り紙の歴史について ・身の回りの切り紙について	10 ↓	
	3 題材のめあてについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 形や色を考えて、季節の感じを切り紙に表そう。 </div>	↑	
	4 切り紙の特性に気付き、そのつくり方について話し合う。	30 ↓	
表 現	5 切り紙を試しにつくる。  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 試しづくりをした切り紙の中で、この形と色の切り紙は、真夏の海にきたような感じがするよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> もっと真夏の海の感じをだすために、切り紙を組み合わせせてみたらいいと思うよ。 </div> 	↑	○ 表したい季節の感じがはっきりとなるように、 試しにつくった切り紙を操作したり、友達と感じたことを話し合ったりさせる。 ㊦ 自分なりのイメージをもつことができない子どもには、友達の作品を鑑賞させたり、折り紙の切り方や置き方を様々に試みさせたりする。
	鑑 賞	6 本時の学習を振り返る。  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 試しづくりをしたら、自分の好きな季節の色や形のイメージがはっきりしてきたよ。次は友達と一緒に表現してみたいな。 </div>	↑
評 価		5 ↓	